



文教大学教育研究所
〒343-8511
埼玉県越谷市南荻島 3337
Tel. 048-974-8811

教育研究所 ニュース

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>

2015.10第43号

- 巻頭言
- 海外の教科書所蔵一覧
- 世界の教科書展(トルコの教科書)、デジタル教科書展・iPadを用いた模擬授業
- 2015年度「定例研究会」
「文教大学の授業」

大学生の「生徒化」とアクティブ・ラーニング

文教大学教育研究所 所長 今田 晃一

先日ゼミの4年生に、「これまで大学の授業はどれぐらい休んだか」と聞いたところ、「実習以外は今まで全授業、一度も欠席も遅刻もありません」という回答を得た。この学生のように大学生の皆勤賞はさすがに珍しいであろう。ただ基本的に授業にはすべて出席し、部活やサークルなどの学生同士の間関係も大切にしながら、自身の学生生活についておおむね満足している学生は思いのほか多いと言う。またその割合が年々増加していることは、筆者も大学の教員として日々実感しているところである。

学生たちの授業への出席率の高さ、真面目さ、従順さをさして、「大学生の生徒化」と呼ばれるが、この言葉が話題になり始めたのは、今から3年ほど前からである。これは今までの文科省がすすめてきた大学改革、各大学の努力の成果とも言える。ただ、当時からコスパ(コストパフォーマンスの略、費用と効果を対比させた度合い)に敏感な大学生たちがSNS(mixi、モバイル向けのGREE、Facebook等)を通して議論を重ね、そこで見出した価値観、スタイルが自然に大学生の間に広がり、まじめな授業態度が広がっていったとも言われている。ところが一方で読書などの自主的な勉強時間の激減や海外留学離れなど、日々の授業以外へのさまざまな体験を通じた主体的、協働的な学びが少なくなっていることが、今の大学生の課題とされている。ただ、これだけ毎時間授業に出席し、日々まじめに課題をこなしている学生に対して、さらに自主的に、ダイナミックに学べというのは酷というものである。

ところで教育課程企画特別部会は次期学習指導要領に向けた論点整理を行い、「子供たちが『何を知っているか』だけではなく、『知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか』ということが大切であり、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力や人間性など情意・態度等に関わるものの全てを、いかに総合的に育てていくかということである」として、アクティブ・ラーニング(AL)の重要性を改めて示した(2015年8月26日)。しかしながら、ALは、先にいわゆる大学教育の「質的転換」答申において、「学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る」ことが示されたものであり、大学の学びを小・中・高に降りてきた形である。

とにかく本学の学生は授業課題に対して真摯に取り組んでくれる。この誠意に応えるために筆者も、従来のように知識を習得するための講義科目と知識を活用・表現する演習科目を峻別するのではなく組み合わせる方向で、模索しながらも新しいAL型授業(講義+AL)を実践しているところである。将来ALを指導する立場にある教員志望の学生が多い本学において、「学修」につながる能動的な授業の在り方を模索していきたい。

教育研究所所蔵の 海外の教科書

教育研究所では 1991 年の創設時より海外の小学校・中学校教科書を収集している。これまでに収集した教科書の内訳は下表のとおりである。

研究部ではこれらの教科書をもとに各国の教育制度や教育事情を研究し、その成果を「世界の教科書展」において毎年発表している。今年度はトルコの教科書の特集し、現在までに小・中学校の教科書を計 125 冊購入した。来年度はドイツ

の教科書を取り上げる予定で、すでに教科書の収集作業を進めている。

海外の教科書を収集・保管する学術機関は少なく、またそれらの購入も容易ではないため、ここ数年ではマスコミをはじめとする各方面からの問い合わせや取材申し込みが増えており、貴重な資料として注目されている。海外の教科書については、貸し出しはおこなっていないが、研究所での閲覧は自由であるため、ご覧になりたい方は教育研究所（10 号館 2 階）までご連絡のうえ、お気軽にお越し頂きたい。（山上真理）

小学校 ②2015/8/31 現在	国語	社会	算数	理科	生活科	総合科	楽しい生活	音楽	美術	体育・健康	実科	英語	日本語	道徳・宗教	国際理解	情報	その他	計(冊)
アメリカ		1	29															30
イギリス	6	12	6	6												4		34
インドネシア	6	12	6	6					6	2		6		6			6	56
オーストラリア	63	4	23	18					6	11	6		3	5	2		10	151
オランダ	2	3	6	6								1					1	19
韓国	26	14	23	16	4		4	4	4	4	2	6		10			10	127
シンガポール			22	13							6		5					46
スイス	2		1															3
スペイン	6	4	6	6		3						6		7		2	1	41
スリランカ	7		5									6		5				23
タイ	12	6	7	6	1	1			2	6	6	6					6	59
中国	10	11	16	15				6	5			4		6			1	74
ドイツ			4			4												8
トルコ ※2	22	18	18	16	5			8		1		18		19		1	8	134
ハンガリー	4		3		2							1					2	12
フィンランド	28	7	26	18								10						89
フランス		10	7															17
ポーランド	1		1	1														3
マレーシア	14	3	17	11	1					6		10		16			8	86
ロシア	51	1	27	3	26			4	9	4	11	36				7	3	182
ブラジル	10	9	9	9					5			5		11			6	64
インド	141		5			10				7				9		15		187
計	411	115	267	150	39	18	4	22	37	47	25	120	3	94	2	29	62	1445

※1 内訳にはワークブック、教師用指導書を含む。他に、中学校 396 冊（13 力国）、高校 50 冊（4 力国）を所蔵。

※2 トルコの教科書については、教育制度の理由から、小中学校で使用されている教科書の数値とした。

第 22 回 世界の教科書展 「トルコの教科書」のお知らせ

10月30日～11月1日藍夢祭参加/8202 教室

1923 年、トルコ共和国の初代大統領に就任したケマル・アタチュルクは、近代国家への道を歩むべく、西洋諸国にその理想を求め、さまざまな改革を実施した。なかでも、1924 年に採択された教育統合法では、すべての教育組織を国民教育相省の管轄下に置くことで、それまでの宗教学校を閉鎖し、世俗学校の創設、初等教育制度の義務化を推進した。その結果、それまでトルコ国民の非識字率は 90%以上と言われていたが、2005 年には 15 歳以上の識字率が 87%を超えるまでに飛躍的に向上した。2010 年の PISA の調査結果においても、トルコは数学・科学の成績を大きく伸ばしている。そして現在、トルコは EU 加盟交渉において教育改革という課題を突きつけられている。都市部と地方における教育格差、それに

ともなう教育制度・教育行政の見直しや教育現場と地域社会との連携など、さまざまな教育制度改革が取り組まれているなかで、教科書もまた大きく様変わりしようとしている。今回の展示では、トルコの教科書に実際に触れることで、新たな局面を迎えようとしているトルコの教育の実情を味わっていただきたい。

(研究部主任 平 正人)



トルコの教科書

2014 年度藍夢祭「デジタル教科書展」、デジタル教材（学生作成）と iPad とデジタル教科書を連携させた模擬授業

藍夢祭において文教大学教育研究所が収集した世界の教科書の約 550 冊の展示とともに、日本の小学校で使用されている指導者用デジタル教科書 1 種（東京書籍：算数 1 年～6 年）、高等学校用の iPad 対応の学習者用のデジタル教科書 9 種（東京書籍：化学、世界史等）も展示した。また、文教大の授業や地域の学校での ICT 活用支援として作成したデジタル教材についても、iBooks（iPad 用の電子書籍）にまとめ、多くの活動や開発した教材を提示した。どのデジタル教材も項目ごとに 1 分程度の映像に簡潔にまとめることに留意したもので、反転授業を想定した教材づくりであり学生が作成したものを展示した。中には雑誌『Mac Fan』に掲載されたものもあり、実際の文教大学の授業内容に興味を持たれた参観者も多かった。

今年度は、文教大学教育研究所客員研究員による 5 年生の算数「一筆がき」を題材として iPad を活用した 3 回の模擬授業を行い、児童・生徒、

保護者、地域の現職の先生方など 2 日間で延べ 50 名の参観者があった。デジタル教科書による①一斉授業（共有）、②1 人 1 台の iPad mini による一筆書きのレベル別の個別学習（集中）、そして③iPad によるグループ学習（協力）による一筆書の作成、という 3 つの学習スタイルを、デジタルの機能と学習内容により使い分けることのメリットを提案した。

(教育研究所所長 今田 晃一)



客員研究員による iPad を活用した模擬授業

2015 年度教育研究所「定例研究会」のお知らせ

【第 86 回 10 月 10 日（土）13:00~14:30】

- 笹岡智聡：「公共性」の視点を持ち、自ら参画する力の基礎を育てる社会科学習
小関友美子：小学校における武道的身体感覚の育成に関する研究

【第 87 回 10 月 31 日（土）13:00~15:00】

- 加藤 紫識：社会科教育における地域博物館の活用・連携の再検討
重綱 知樹：教育 ICT を活用した系統的学習動機促進授業法の検討
市河 大：ICT を活用したアクティブ・ラーニングの実践
綾 牧子：保育者養成過程における専門性を獲得するための教育方法及び
カリキュラムに関する研究
清水 香保里：心豊かで、温かい関わりを深める南古谷っ子の育成
～自ら問題意識を持ち、生き方を考える道德教育の創造～
江田 節子：在宅歯科医療推進への取り組みと認定歯科衛生士の果たす役割について

【第 88 回 11 月 1 日（日）10:30~12:30】

- 村山 大樹：幼児教育における ICT の活用
長田 朋之：iPad を用いた授業づくり ～理科の実験における活用～
村橋 直樹：iPad を用いた授業づくり ～iPad mini を活用したフィールドワーク～
阪本 陽子：社会科教育実践の手法 ～「学級」運営に注目して～
栗原 保：行政と市民が協働する社会教育委員活動の取組み（1）
～市町村の社会教育委員活動の事例を元に～
鬼澤大地：小学校段階でのアクティブ・ラーニングの実践研究
～授業時間と児童の役割を反転させた「反転授業」の実践を中心として～

【第 89 回 3 月 5 日（土）13:00~】

年度総会（定例研究会 発表予備日）

（研修部主任 加藤純一）

2015 年度『文教大学の授業』執筆者紹介

- | | |
|--------------|--------------|
| 第 52 号 教育学部 | 今田 晃一 先生（既刊） |
| 第 53 号 人間科学部 | 青山 鉄兵 先生（既刊） |
| 第 54 号 文学部 | 糸井 江美 先生（既刊） |
| 第 55 号 経営学部 | 鈴木 誠 先生 |

2015 年度 教育研究所スタッフ	
所 長	今田 晃一
研究部主任	平 正人
研修部主任	加藤 純一
教 員	早川 明夫
事 務	山上 真理